

## Roger McDonald + 帆足亜紀 + Azby Brown

英語で行うアートの講座 2

10月8日、15日、22日、29日、11月5日、12日、19日、26日



前期開講の続編。アートコーディネーターやキュレーター、建築家の視点からアートについての授業を英語で行います。海外経験豊富な講師陣によるリアリティのある話を伺えるとともに語学力も身につきます。英語が得意な方もそうでない方もOK! NYKがNYに変身!?

R.マクドナルド:1971年生まれ。インディペンデントキュレーター。シンガポールビエンナーレ2006キュレーター。武蔵野美術大学、多摩美術大学非常勤講師。AIT副ディレクター。ほあしあき:アートコーディネーター。シティ大学にて博物館・美術館運営学修士号取得。国際交流基金(97-07)、ニッセイ基礎研究所(00-02)、アークスプロジェクトディレクター(03-06年産)。A.ブラウン:56年生まれ。80年イェール大学彫刻科卒業。日本建築・美学を研究。85年より東京大学建築学科に文部省給費留学生として来日。金沢工業大学メディア情報学科准教授。

月	mon. 19:30－21:30
---	------------------

### 前田圭蔵

ごくごく私的な舞台芸術入門～最先端のパフォーミング・アートについて
12月3日、10日、17日、1月7日、14日、21日、28日+見学ツアー



幼少期の音楽体験や大学受験そっちのけで興味を持った寺山修司やマルセル・デュシャンの存在。その後の様々な活動を経て、現在のプロデュース/ディレクター業に至った経緯を踏まえ、世界最先端のパフォーマンス(舞台芸術)の魅力をできるだけ多角的に紐解き、同時にマネージメントという仕事の実態や劇場文化の課題、今後の展望についても考察を試みたい。なかなか見ることのできない舞台作品の秘蔵ビデオ鑑賞や、フィールドワークとして劇場・裏巡りツアーも行う予定。

ままだけいぞう:1964生まれ。多摩美術大学芸術学科卒業。在学中はボクスターハリスカンパニー設立に参加。世田谷美術館学芸員、懶カンパセーション入社(現取締役)、舞台芸術のプロデューサー兼クリエイティブ・ディレクターとして活動。NPO法人リアルシティーズ理事としてwebマガジン/realtokyoに寄稿。

月	mon. 19:30－21:30
---	------------------

### 中村恩恵

身体を通じて舞踊を楽しむ

2月4日、11日、18日、25日、3月3日、10日、17日、24日



特別な身体訓練を受けたことのない、しかし舞踊に心をひかれる人のための講座です。身体を実際に使うことを通じて舞踊の楽しみを体感していきます。自分の身体を感じ、そして自らの表現の可能性を探る時間を提供します。

なかむらめぐみ:横浜生まれ。舞踊家。1991年から現代の舞踊界のリーダー的なカンパニー、ネザーランドダンスシアターで主要ダンサーとして踊ったのち、オランダをベースにフリーの舞踊家として活動。近年では自らの舞踊活動のかたわら、キリアン作品のコーチとしてバリオペラ座をはじめ、世界中のバレエカンパニーやバレエスクールで作品指導にあたる。07年、横浜に舞踊活動の拠点として、Dance Sangaを設立。2007年5－6月期BankARTアーティストインスタジオプログラム参加。

## 野村 誠

21世紀の音楽論～音大では学べない作曲講座

10月9日、16日、23日、30日、11月3日(土)、6日、13日、20日



撮影:斎藤 剛

野村の方法論や実践例を、惜しみなく伝えます。受講対象は、音楽に対する好奇心が強いすべての方とします。講座内容は、①共同作曲概説、②絵画と作曲と記譜、③演習しようき作曲、④ワークショップ論、⑤演劇交響曲、⑥即興演奏、⑦鍵盤ハーモニカの現在、⑧音楽と映像、を予定。カフェライブシリーズとも連動します。

ゲスト:片岡祐介(音楽家)、坂本一孝(音楽家)

のむらまこと:1968年生まれ。作曲家。鳥袋道浩(美術家)との「タコとタヌキ 鳥袋野村芸術研究基金」、白井 剛(振付家)との「フィジカル・ピアニスト」、倉品淳子(演出家)+矢内原美邦(振付家)との「演劇交響曲 十年音泉」など、交差ジャンルの作品も多数。NHK教育テレビ「あいのて」監修。アサヒビール芸術賞受賞。著書に「即興演奏ってどうやるの」、CDに「せみ」等。国内のみならず、海外でも活動を展開中。

火	tue. 19:30－21:30
---	------------------

## 横浜にギャラリーは育つか？

12月4日、11日、18日、25日、1月8日、15日、22日、29日

現代美術を取り扱うギャラリーは、東京に数多くありますが、横浜には企画ギャラリーがほとんど見当たりにません。クリエイティブシティを標榜する横浜に、ギャラリーはどうしたら育つかをテーマに横浜内外のギャラリストが現場の声を語ります。

井上和明(ギャラリー・パストレイズ/横浜・東京)

坪山紗織・森田彩子(ギャラリー・パリ/横浜)

小山登美夫(小山登美夫ギャラリー/東京)

上田雄三(ギャラリーQ/東京)

大野博子(Oギャラリー/東京)

佐谷周吾(シュウアコーツ/東京)

塩原将志(nichido contemporary art /東京)

藤本俊幸(アートフロントギャラリー/東京)

浦上 満(浦上蒼穹堂/東京)

火	tue. 19:30－21:30
---	------------------

## 光田由里+住友文彦+森 司+南 雄介

学芸員のいま考えていること

2月5日、12日、19日、26日、3月4日、11日、18日、25日

指定管理者制度の嵐が一段落ついたこと、新国立美術館の誕生、新たなマーケットの高揚等、現代美術は正にその新たな可能性を試される時期に入ったといえます。現在最も活発に、そしてクリアな意志で企画を推進する学芸員に、今考えていること、みているものを語っていただきたいと思ひます。

みつだゆり:1962年生まれ。渋谷区立松涛美術館学芸員。京都大学文学部卒業。多摩美術大学非常勤講師。すみともふみひこ:71年生まれ。東京都現代美術館学芸員。東京大学大学院総合文化研究科表象文化論コース修了。武蔵野美術大学非常勤講師。

もりつかさ:60年生まれ。水戸芸術館現代美術センター学芸員。多摩美術大学大学院美術研究科(芸術学)修了。みなみゆうすけ:59年生まれ。国立新美術館主任研究員。東京芸術大学大学院美術研究科修士課程修了。

## 長谷見雄二+西澤英和+今川憲英+金箱温春

ラジカルできちんとした建築構造と防災

10月10日、17日、24日、31日、11月7日、14日、21日、28日

古い建物を改修する際、あるいは新しい時代の建築を切り開こうとする際、必ずといってよいほどテーマになる構造と防災設計。これらに真正面から、あるいは一休さんのように軽やかにジャンプする方法はあるのか？ 気鋭の研究者と建築家が鋭く切り込みます。

はせみゆうじ:1951年生まれ。早稲田大学大学院修士課程修了。工学博士。87－97年建設省建築研究所第五研究部防火研究室長。早稲田大学理工学術院(建築)教授。

にしごわひでかず:51年生まれ。京都大学院工学研究科博士課程修了。工学博士。2007年、関西大学環境都市工学部建築学科 建築保存工学研究室准教授。

いまがわのりひで:47年生まれ。日本大学理工学部建築学科卒。外科医的建築家。東京電機大学未来科学部建築学科教授。かねばこよしはる:53年生まれ。東京工業大学大学院総合理工学研究科社会開発工学修了。東京工業大学、神奈川大学非常勤講師。

水	wed. 19:30－21:30
---	------------------

### 佐藤文昭

企業メセナの品格!?

12月5日、12日、19日、26日、1月8日、15日、22日、29日



アートを支える多くのインフラの中で、企業メセナについて第一線の現場からレポート。今、アートを表現し社会化するNPO・団体・法人にとって経営マネジメントが求められている。日本を代表するビッグ企業が生々しい実態を伝える。NPO等はその経営理念

と手法とから多くを学べるに違いない。

ゲスト:関 正雄(損保ジャパン)、布施直人(トヨタ自動車)、片山正夫(セゾン文化財団)、蓮池奈緒子(ANJ)

さとうふみあき:一橋大学法学部卒。1971年松下電器入社。東京採用部長など人事責任者を歴任。02年より松下電器社会文化Gで社会貢献・文化芸術支援を担当。アートNPOリンクアドバイザー・複数のアートNPO役員・理事を兼任。現在團21世紀職業財団神奈川事務所長。

水	wed. 19:30－21:30
---	------------------

## 北島敬三

写真制作実践講座

2月6日、13日、20日、27日、3月5日、12日、19日、26日



講座参加者が各自小テーマを設定し、撮影とプリント制作を同時進行で行い、計8回の講座をとおして、テーマに即した形の作品にまで仕上げてゆく。毎回、私も含めた講座参加者全員で、それぞれの作品について製作過程の段階からディスカッションを繰り返し、内容を深め、それにふさわしい作品形式を生み出してゆく。

きたじまけいぞう:1954年長野県生まれ。写真家。81年日本写真協会新人賞、83年第8回木村伊兵衛賞受賞。主な展覧会として83年「NEW YORK」ニコンサロン、2004年「PORTRAITS／PLACES」Blue Sky Gallery、04年「横濱写真館」BankART1929、05年photographers' gallery横浜展「借りた場所、借りた時間」BankART Studio NYK、など。主な写真集に、『写真特急便「東京」』、『A.D.1991』、『PORTRAITS+PLACES』など。

日時: 2007年9月28日(金) 19:00－21:00
場所: BankART Studio NYK 2F
参加費: 1,000円(スクール生は500円)
ご予約・問い合わせ: school@bankart1929.com

## BankART school Urban Design Study 2007

空間の理解と未来社会の設計～横浜に8つの空間を描く

10月25日、11月1日、8日、15日、22日、29日、12月6日、13日

『今日の都市』を多様な視点から把握し、人口減少に象徴される都市の空間や身近な環境の変化と背景にある社会構造や空間構造の変質を理解する研究会です。また、様々な立場と専門性が、将来都市と空間について、分析と提案を行います。8回の研究会では、横浜市についての新しい構想計画や空間政策を、受講者=研究員が加わり徹底的に議論していきます。

コーディネーター: **北沢 猛**

サブコーディネーター:

**秋元康幸**(横浜市都市デザイン室長)

**中野 創**(横浜市創造都市事業本部担当課長)

**鈴木伸治**(横浜市立大学准教授・創造都市アドバイザー)

ゲスト:**清家 剛**(東京大学准教授)、**信時正人**(横浜市都市経営戦略室理事・前東京大学特任教授)、**大江守之**(慶應義塾大学総合政策学部教授)、**梅川智也**(財団法人日本交通公社研究調査部長)

木	thu. 19:30－21:30
---	------------------

## ウエダ家

ウエダ家の酵母講座

12月6日、13日、20日、27日、1月10日、17日、24日、31日



酵母生活ははじめよう。身近にあるなるべく健康な果物や野菜を選び、ビンに入れ、フタをするだけではじまる酵母生活。人とともに暮らす菌をえらぶ簡単なしかけ。体験したことのない、多様なあまみ・うまみが展開します。いままでに味わった事のない日々のごはんにになり、パンになり、スイーツにもなります。これらは生きていくために必要な栄養やエネルギー。ウエダ家と酵母を起こし、酵母生活ははじめよう。

うえだけ:植田雄雄、植田道子、植田 遊、植田 好の家族で構成。プロデューサー、アートディレクター。COBO NET主宰。菌とともに生きる生活から、具体的なビジョンを見出し、そこに新しい社会デザインを提案する。著作『旬の酵母でつくるパンBook』、『酵母食レシピ』、『酵母ごはん』、『あたらしいごはん』、10月初旬『酵母スイーツ』発売。http://www.cobo-net.com

木	thu. 19:30－21:30
---	------------------

### 田中信太郎

手のひらサイズワークショップ

2月7日、14日、21日、28日、3月6日、13日、20日、27日



社会的な表現者を生んだネオ・ダダイズム・オルガナイザーズのメンバーのひとり、田中信太郎氏によるワークショップ形式の講座。これまでの現代美術の代表作をスライドや映像で参照しながら、毎講座ごとに実際に手を動かしながら手のひらサイズの制作を行います。BankART内でのミニ展覧会も予定。一般の方から、アーティストを目指す人まで幅広くご参加いただけます。

たなかしんたろう:東京都生まれ。1959年より読売アンデパンダン展に出品。60年「ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ」に参加。69年パリ・ビエンナーレ、71年サンパウロ・ビエンナーレ、72年ヴェネチア・ビエンナーレ等、国際的に活躍。最近では2000年第一回越後妻有アートトリエンナーレにおける「赤とんぼ」作品や、01年インド・トリエンナーレ、03年国立国際美術館での回顧展など、充実した活動が続いている。

研究会シリーズ第1弾
BankART school Urban Design Study 2007

### 10－11月期木曜日 コーディネーター: 北沢 猛

今回新たに始動する研究会。公募するのは10名程度。若手の専門家や行政、企業人、まちづくりの専門家を目指す人、また、横浜のまちづくりに関心のある市民が対象となります。事前にプロフィールと横浜の分析や提案をA4の1枚以内で提出していただきます。定員を超えた場合は、提案をもとに、コーディネーターが選考いたします。

## 新横濱藝術迎賓館

10月12日、19日、26日、11月2日、9日、16日、23日、30日

各国の大使館、文化機関の方々をお招きして、自国における文化政策と日本での展開について、カフェテーブルを囲んでの自由な雰囲気の中でお話いただきます。

**湯浅真奈美**(ブリティッシュ・カウンシル)

**徳 仁美**(オーストラリア大使館)

**マルクス・ヴェルンハルト**(東京ドイツ文化センター)

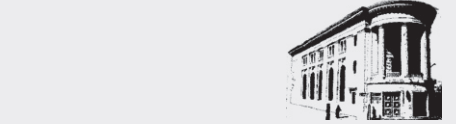
**内田由紀**(イスラエル大使館)

**フィリップ・ラルー**(横浜日仏学院)

**ルイス・フェルナンド・デ・カルバリーヨ**(ブラジル大使館)

**吉田栄一**(アジア経済研究所アフリカ研究グループ)

ほか



金	fri. 19:30－21:30
---	------------------

### 岩井成昭

アート・コミュニケーション入門～対話の手法

12月7日、14日、21日、28日、1月11日、18日、25日、2月1日



他者との関わりを表現活動にとり込む手法として、インタビューやワークショップをベースにしたアートの「コミュニケーション・デザイン」が注目されています。他者から情報を得る、関係を築くプロセスをアートにとどまらないさまざまな分野のゲストと共に話し合い、スキルの共有を試みます。

ゲスト:**阿部初美**(演出家)、**手塚夏子**(振付家)、**関 朝之**(ノンフィクション・ライター)

いらいしげあき:1962年東京生まれ。美術家。国内外における特定地域の環境やコミュニティの調査をもとに、幅広いメディアを複合的に使用した視覚表現を展開。各国の美術展に参加する一方で、あらゆる世代を対象にしたワークショップや多文化研究活動を平行して実施中。現在、東京芸術大学非常勤講師。http://www.iwaishigeaki.com

金	fri. 19:30－21:30
---	------------------

### 大野慶人

雪月花

2月15日、22日、29日、3月7日、14日、21日、28日、4月4日



舞踏とはどんな形で肉体に存在し、残ってゆくものか。不変なものとは何か？ 土方巽、大野一雄の舞踏を通じて、私の体験した舞踏を伝えるワークショップです。その形と魂を感じ、頭ずす試みとなります。また、BankART妻有にて白銀の中でのワークショップ合宿もオプションプログラムとして予定しております。※合宿費用が別途必要

おおのよしと:1938年東京生まれ。59年、土方巽の「禁色」で少年役をずる。以後、アルト一館、暗黒舞踏派公演に参加。85年「死海」で大野一雄と共演。86年以降は大野一雄の全作品を演出。98年、郡司正勝氏の遺稿を基にソロ作品「ドリアン・グレイの最後の肖像」を上演。国内外で公演活動を続ける他、映画「ヨコハマメリー」(2005)等に出演。著書に「大野一雄魂の糧」(フィルムアート)。

主催:BankART1929
共催:アーバンデザインセンター横浜
参加費:無料

きたざわたける:1953年生まれ。東京大学工学部都市工学科卒業。77年横浜市に入庁。95年都市計画局都市デザイン室長。横浜市参与、京都市府・千葉県参与、アーバンデザイン研究会会長、横濱まちづくり倶楽部副会長をつとめる。東京大学教授。
--

※土曜日はツアーによって時間が異なる場合があります。 ※入館料・交通費などは各自負担
--

## 村田 真

村田 真といく美術館ツアー2

10月6日、13日、20日、27日、11月3日、10日、17日、24日



美術館はどのように成り立ち、どんな人たちに支えられ、これからどこへ向かおうとしているのか。BankARTスクール校長の村田 真とともに横浜や東京の美術館をたずね歩くシリーズ第2弾。可能な限り学芸員の話聞き、収蔵庫や搬入・搬出口などのバック

ヤードものぞかせてもらい、美術館への理解を深めたいっす。見学予定:横浜美術館「シュルレアリスムと美術」/国立新美術館「安斎重男の「私・写・録」」/神奈川県立近代美術館葉山「イリヤ・カバコフ[世界図鑑]」/世田谷美術館「福原信三と美術と資生堂」/横須賀美術館「洪澤龍彦・幻想美術館」/森美術館「六本木クロッシング2007」/原美術館「ピロツォッティ・リスト」

むらたまこと:東京生まれ。美術ジャーナリスト。朝日新聞、北海道新聞、webマガジン「artscape」等に執筆。慶応義塾大学、学習院女子大学非常勤講師。

土	sat. 14:00－16:00
---	------------------

## 深沢アート研究所

こども造形ワークショップ

12月1日、8日、15日、22日、1月12日、19日、26日、2月2日



こども造形は工作やアートを教えられるのでは無く、あるテーマや素材をきっかけに、ひとりひとりがじっくりと手を動かして制作することものアートです。内容:「重いねんどで作る&磨く」、「なんか気持ちのいいものをつくる」、「墨で描く巻物'08」、「冬の葉っぱの細密画」など。

ふかざわあーとけんきゆうじょ:山添joseph勇とカブによるアーティストユニット。2003年4月世田谷区深沢に「こども造形教室・緑化研究室/深沢アート研究所」を設立。05年7月－06年10月まで北仲BRICK&WHITE入居、05－07年「食と現代美術」参加。07年2月に(株)ココヨリワークショップキット「ころころコース世界〇〇旅行へん」発売。アートを基軸とした「こども造形」と「緑化」の研究を活動とする。http://www.hukalabo.com

土	sat. 14:00－16:00
---	------------------

## 磯 達雄 + 五十嵐太郎

現代建築を10倍楽しむ法 2

1月26日、2月2日、9日、16日 3月1日、8日、15日、22日



前期好評の続編。建築を見るのは面白い。その見方がわかるともっと面白い。この講座では、神奈川県や東京都などBankARTの近場にある現代建築を実際に見に行き、それを鑑賞します。楽しむためのポイントを伝えると同時に、受講者とのディスカッションを通じて、建築を多角的にとらえる方法を身につけてもらいます。

いそたつお:1963年埼玉県生まれ。建築ジャーナリスト。88－99年「日経アーキテクチュア」編集部。2000年に独立し、02年からブリックスタジオ共同主宰。共著に『建築の書物/都市の書物』(INAX出版)、『昭和モダン建築巡礼』(日経BP社)など。いがらしたろう:67年パリ生まれ。東北大学准教授。主な著書に『終わりの建築/始まりの建築-ポスト・ラディカリズムの建築と言説』(INAX出版)、『新宗教と巨大建築』(講談社現代新書)など。

※土曜日はツアーによって時間が異なる場合があります。 ※入館料・交通費などは各自負担
--

### 第4期

### 第5期